

名 称	令和2年度 H29 道路構造物改定に関する講習会（その2）（オンライン開催）																				
実施日	令和2年12月17日（木）	実施場所	建設コンサルタンツ協会関東支部 会議室																		
参加者数	164名（会員164名（58社）、非会員一名（一社）、委員会事務局17名）																				
実施目的	<p>当委員会では若手・中堅技術者を対象に、橋梁に関連する最新の話題や関心が高い事項に対して講習会を開催している。今年度は、平成29年度に改定された道路橋示方書について、実務レベルで本格運用されてきたこと、各種便覧も改定されてきたことを踏まえ、改定内容の再確認および更なる理解を深めることを目的とし、鋼橋やPC橋、鋼管杭、支承に関する技術講習会を開催した。</p>																				
実施概要	<p>1. 開催概要</p> <p>本講習会は、令和2年12月17日（木）13時～17時に下記プログラムに沿って開催した。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、Zoomを活用したオンライン方式での開催となった。</p> <p>講習会では、日本橋梁建設協会、プレストレストコンクリート建設業協会、鋼管杭・鋼矢板技術協会、日本支承協会から講師を招き、H29道路橋示方書改定の内容や留意点について講演いただいた。</p> <p>関東支部で初めてのオンライン講習会であり、機器操作のトラブルを避けるため質疑応答は行わなかった。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">1. 趣旨説明 (13:00～13:05)</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">技術委員会・道路構造物専門委員会 委員長 伊礼 貴幸</td> <td rowspan="7" style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td>2. 合成桁の設計例と解説（H29道示版） (13:05～14:00)</td> <td style="text-align: right;">（一社）日本橋梁建設協会 志熊 隆 氏</td> </tr> <tr> <td>3. H29道示対応プレテンJIS設計製造便覧について (14:00～14:50)</td> <td style="text-align: right;">（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 長谷川 剛 氏</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">【休 息 14:50～15:00】</td> </tr> <tr> <td>4. H29道示対応PCコンポ橋設計例について (15:00～15:25)</td> <td style="text-align: right;">（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 酒合 勝 氏</td> </tr> <tr> <td>5. H29道路橋示方書による鋼管杭の設計・施工に関する留意点 (15:25～16:10)</td> <td style="text-align: right;">（一社）鋼管杭・鋼矢板技術協会 田邊 将一 氏</td> </tr> <tr> <td>6. H29道示/H30支承便覧における設計上の留意点 (16:10～16:55)</td> <td style="text-align: right;">（一社）日本支承協会 渋谷 光起 氏</td> </tr> <tr> <td>7. 雑話 (16:55～17:00)</td> <td style="text-align: right;">技術委員会・道路構造物専門委員会 副委員長 石田 直光</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> </table> <p>2. 講演内容</p> <p>(1)開会挨拶・趣旨説明：（一社）建設コンサルタンツ協会関東支部 主催者側を代表し、道路構造物専門委員会伊礼委員長から、技術講習会開催の背景、目的について趣旨説明を行った。また、開催にあたりご協力いただいた各協会等の代表者に対して、謝意が述べられた。</p> <p>(2)合成桁の設計例と解説（H29道示版）：（一社）日本橋梁建設協会 志熊 隆氏 平成29年道路橋示方書における鋼橋の合成桁設計に関し、改定のポイント、床版の設計、主桁の設計、中間対傾構の設計、横構の設計についての各種要点について解説いただいた。また、H24道示設計との比較について、実例計算結果を交えて解説いただいた。</p> <div style="text-align: center;">  </div>			1. 趣旨説明 (13:00～13:05)	技術委員会・道路構造物専門委員会 委員長 伊礼 貴幸		2. 合成桁の設計例と解説（H29道示版） (13:05～14:00)	（一社）日本橋梁建設協会 志熊 隆 氏	3. H29道示対応プレテンJIS設計製造便覧について (14:00～14:50)	（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 長谷川 剛 氏	【休 息 14:50～15:00】		4. H29道示対応PCコンポ橋設計例について (15:00～15:25)	（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 酒合 勝 氏	5. H29道路橋示方書による鋼管杭の設計・施工に関する留意点 (15:25～16:10)	（一社）鋼管杭・鋼矢板技術協会 田邊 将一 氏	6. H29道示/H30支承便覧における設計上の留意点 (16:10～16:55)	（一社）日本支承協会 渋谷 光起 氏	7. 雑話 (16:55～17:00)	技術委員会・道路構造物専門委員会 副委員長 石田 直光	
1. 趣旨説明 (13:00～13:05)	技術委員会・道路構造物専門委員会 委員長 伊礼 貴幸																				
2. 合成桁の設計例と解説（H29道示版） (13:05～14:00)	（一社）日本橋梁建設協会 志熊 隆 氏																				
3. H29道示対応プレテンJIS設計製造便覧について (14:00～14:50)	（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 長谷川 剛 氏																				
【休 息 14:50～15:00】																					
4. H29道示対応PCコンポ橋設計例について (15:00～15:25)	（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 酒合 勝 氏																				
5. H29道路橋示方書による鋼管杭の設計・施工に関する留意点 (15:25～16:10)	（一社）鋼管杭・鋼矢板技術協会 田邊 将一 氏																				
6. H29道示/H30支承便覧における設計上の留意点 (16:10～16:55)	（一社）日本支承協会 渋谷 光起 氏																				
7. 雑話 (16:55～17:00)	技術委員会・道路構造物専門委員会 副委員長 石田 直光																				

(3)H29 道示対応プレテン JIS 設計製造便覧について：(一社)PC 建設業協会 長谷川 剛氏

平成 29 年道路橋示方書における PC 橋に関し、改定の概要について説明いただいた。また、PC プレテンション方式橋桁の概要、JIS 改定の変遷、適用範囲等を説明いただいた後、設計手順や設計における留意点、材料や製造に関する概要について解説いただいた。



(4)H29 道示対応 PC コンボ設計計算例について：(一社)PC 建設業協会 落合 勝氏

平成 29 年道路橋示方書における PC コンボ橋に関し、PC コンボ橋の設計計算例作成委員会の説明、PC コンボ橋の設計方針、PC コンボ橋の設計計算例について説明いただいた。特に設計計算例においては、各部材ごとの設計に関する考え方について解説いただいた。



(5)H29 道路橋示方書による鋼管杭の設計・施工に関する留意点：(一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会 田邊 将一氏

平成 29 年道路橋示方書における鋼管杭の設計に関し、鋼管杭工法の適用に関する見直し内容、鋼管杭設計に関する留意点について説明いただいた。特に、負の周面摩擦力に対する検討、杭とフーチングの接合部について詳しく説明いただき、H29 道示による設計例について解説いただいた。



(6)H29 道示/H30 支承便覧における設計上の留意点：(一社)日本支承協会 澁谷 光起氏

平成 29 年道路橋示方書における支承の設計、平成 30 年支承便覧の改訂の概要について説明いただいた。また、免震支承の設計モデルの高度化、アンカーボルトによる接合部の設計、溶接部の設計に関する検討について解説いただいた。



(7)総括：(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部

道路構造物専門委員会石垣副委員長から、今回の講習会について総括するとともに、講習会参加者に対して御礼を述べた。また、本委員会の現在までの活動内容および今後の活動方針を説明するとともに、建設コンサルタンツ協会への幅広い支援と、講習会、現場見学会等への参加をお願いした。

3. アンケート結果

講習会終了後に、講習会の内容やオンライン開催について質問するアンケートを Web 方式で実施した。オンライン開催については概ね好評であり、参加費についても妥当との回答が 86.3%となった。